

# がんセンター 便り



宮城県立がんセンター地域医療連携室

## 第16回 看護部公開研修会のご案内

「病院・施設・在宅をつないで支援するがん患者の看護」  
～各施設で実践しているがん患者の看護～

### パネルディスカッション

パネリスト：がん専門病院、訪問看護ステーション、在宅診療医療機関、高齢者介護施設から

- 日時：令和元年 7月6日(土)13:00～16:15
- 会場：名取市増田公民館 ホール・ステージ
- 定員：200名
- 対象：医療施設、社会福祉施設、訪問看護ステーション等で働く職員で開催内容に興味のある方
- 申込：申込用紙にご記入のうえFAXにて、お申し込み下さい。
- 担当：看護部 副部長 高山玲子

## 外来新患診療体制表 2019年5月現在

(宮城県立がんセンター)

診療科	曜日	月	火	水	木	金
血液内科		●	●			●
腫瘍内科		●		●		●
呼吸器内科		●	●	●	●	●
消化器内科		●	●		●	●
頭頸部内科				●		
緩和ケア内科				●		●
呼吸器外科				●		●
消化器外科			●	●		●
乳腺外科	●				●	
整形外科			●		●	
形成外科			●			●
脳神経外科	●			●		●
泌尿器科	●			●		●
婦人科	●		●		●	
頭頸部外科	●		●		●	
放射線治療科	●		●	●	●	

診療受付時間：午前8時30分～11時00分 TEL 022-384-3151 (代) FAX 022-381-1169 (地域医療連携室)

## 消化器外科(上部・下部消化管) 紹介

消化器外科診療科長 三浦 康



2019年4月よりがんセンター消化器外科は、スタッフ医師7名(藤谷恒明(副院長)、三浦康(診療科長)、岩指元、木内誠、長谷川康弘、木村俊一、茂呂浩史)の態勢で取り組んでいます。このうち、岩指元医師は2018年7月から当センターに異動し、肝胆膵外科治療の中心的役割を担い、木村俊一医師は2019年4月から加わっています。低侵襲外科治療は、特に消化管手術を中心に時代のニーズであり、木内誠医師、長谷川康弘医師が日本内視鏡外科学会の技術認定資格を取得しています。また、がんセンターとしての特性を生かして、各診療科との連携のもとでの集学的治療、緩和的外科治療に取り組んでいます。

### \* 上部消化管の外科治療

胃癌の腹腔鏡手術に積極的に取り組んでおり、中心をなすのが長谷川医師、茂呂医師、さらに木内医師です。特にこの5年間で、腹腔鏡手術の割合は胃癌手術全体の6-7割と大きく増加し、胃全摘術、噴門側胃切除術など高難度の腹腔鏡手術にも取り組んでいることが特長です。また消化器内科との連携のもと、内視鏡共同胃局所切除(LECS)にも積極的に取り組んでいます。日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)に参加するとともに、栄養支援チーム(NST)と周術期の栄養管理にも力を入れています。また、腫瘍内科と連携した、高度進行癌に対するコンバージョン手術にも取り組んでいます。国内学会のみならず、2019年5月には第13回国際胃癌会議(チェコ共和国(プラハ))でも発表します。

### \* 下部消化管の外科治療

大腸癌(結腸癌、直腸癌)の腹腔鏡手術の中心をなすのが木内医師、木村医師です。腹腔鏡手術の割合は大腸癌の手術全体の7-8割を超え、中下部直腸癌など高難度の腹腔鏡手術の多いことが特長です。永久人工肛門を回避した肛門機能温存の高難度の直腸癌治療に積極的に取り組むとともに、放射線治療科との連携のもとで局所進行直腸癌に対する術前化学放射線治療を併せた外科治療(UMIN試験ID:000015530)、再発癌の治療にも力を入れています。JCOG大腸癌グループの各種臨床試験に取り組むとともに、来る時代のロボット支援下手術への準備も進め、患者さんのニーズに答える外科治療に取り組んでいきます。



向かって左より、後列 茂呂浩史・木村俊一・長谷川康弘・木内 誠  
前列 岩指 元・藤谷恒明(副院長)・三浦 康

## 交通案内

J 東北本線名取駅下車、バスまたはタクシーを利用  
桜 名取駅西口から「県立がんセンター線」(なとりん号)を利用  
南 名取駅西口から「北目上原線」(なとりん号)を利用  
交 仙台南インターからは、国道286号バイパスを経由  
通 県道仙台・岩沼線を利用(所要時間約15分)  
車 自家用車

## 地域医療連携室のご案内

地域医療機関の先生方からご紹介を受けた患者さんの診療予約をお取りしてスムーズな受診ができるようにしております。

- 受付 午前8時30分～午後5時15分
- TEL (022) 381-5152(直通)  
(022) 384-3151(代) 内線123
- FAX (022) 381-1169(地域医療連携室)

**宮城県立がんセンター**  
〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1  
電話(代表)022-384-3151 FAX(企画総務課)022-381-1168

□ゴママークの3本の柱は「治療、予防、研究」を、上の「まる」は患者さんを表わしています。3本の柱が、患者さんを支えるという意味です。



# 肝胆膵腫瘍の外科治療について

消化器外科 **岩指 元**



「肝胆膵」というのは、肝臓、胆嚢及び胆管、膵臓をまとめて表す言葉です。これらの臓器は消化器外科の中でも上部消化管や下部消化管とわけて、一括して扱われることが多いものです。肝臓と胆嚢・胆管、胆管と膵臓はそれぞれつながっており、これらを一緒に扱うことが多いため、肝胆膵腫瘍を扱う肝胆膵外科という呼び方になります。

肝胆膵腫瘍として当院で扱う疾患は肝臓では肝悪性腫瘍（肝細胞がん、肝内胆管がん、他）、胆嚢では胆嚢がん・胆嚢腺筋腫症、胆管では胆管がん、膵臓では膵がん・膵のう胞性疾患（膵管内乳頭粘液性腫瘍、他）、膵神経内分泌腫瘍（アップルコンピューター創業者のステーブ・ジョブズ氏がかかった病気）などがあります。また腫瘍ではないですが、胆嚢結石症や胆管結石症などの手術も行います。

中でも膵癌は、胃癌や大腸癌など他の癌に比べるとなかなか治療が難しい病気です。進行が早いため発見された時には、近くの血管への浸潤やリンパ節・肝臓・腹膜などへの転移のために切除できない症例もあります。近年手術手技の発展に伴い、門脈という膵臓に最も近い血管は安全に合併切除出来るようになって来ており、以前よりも手術できる症例が増えてきています。またその他の要因で手術が困難な症例については、消化器科や腫瘍内科、放射線科と連携しながら化学療法を行い、腫瘍を縮小させてから手術を行う場合もあります。


膵頭部がん（膵頭部膵癌や下部胆管がん）は切除臓器も多く、体への負担が大きな手術です。術前の体力や栄養状態を高めておく事によって、術後の体力低下を軽減することができます。体力があれば術後の回復も早めることができるため、理学療法士と連携して手術前の入院時から体力作りのリハビリを行い、栄養士と連携して栄養強化をしています。もちろん術後もリハビリや栄養指導を行っています。このように外科だけでなく、消化器科、腫瘍内科、麻酔科、放射線科の医師、病棟・外来の看護師、薬剤師、栄養士など、それぞれの専門を生かしてチーム医療を行なっています。

# 新任医師の紹介

- ①診療科
- ②氏名（ふりがな）
- ③出身地
- ④挨拶・抱負


平成30年7月1日付け

- ①乳腺外科
- ②小坂 真吉（こさか しんきち）
- ③秋田県秋田市
- ④小坂真吉と申します。2018年5月から宮城県立がんセンターで乳腺外科としてお世話になっています。乳癌は女性の悪性疾患でもとも雇患者率が高く、診断から治療まで多くの知識や経験が必要です。特に東北地方では乳腺外科医が少ないと言われています。なんとか貢献できるよう頑張りたいと思います。まだ未熟で勉強中ですが、何卒よろしくお願ひいたします。




平成31年4月1日付け

- ①整形外科
- ②保坂 正美（ほさか まさみ）
- ③宮城県仙台市
- ④4月に東北大学病院より赴任いたしました。大きな貢献をされた村上亨先生の後任で至らぬ面が多くありますが、「風通しの良い整形外科」をモットーに診療に努めたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。




平成31年4月1日付け

- ①精神腫瘍科
- ②野村 綾（のむら りょう）
- ③北海道
- ④今年4月より新設された精神腫瘍科に着任致しました。不安、抑うつ、せん妄などがん患者さんの心の問題に取り組む診療科です（現在は院内紹介のみの対応となっております）。よろしくお見知りおきください。




平成31年4月1日付け

- ①消化器外科
- ②木村 俊一（きむら しゅんいち）
- ③仙台市
- ④4月に消化器外科に着任した木村と申します。主に下部消化管を担当させて頂く予定です。以前は東北医科薬科大学で胃腸系から肝胆膵系の炎症性疾患から悪性まで、また化学療法から緩和医療まで従事してきましたが、それぞれのエキスパートがいるがんに特化した病院で働くことができ、大変うれしく思っております。慣れないうちは何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、御指導よろしくお願ひいたします。




平成31年4月1日付け

- ①形成外科
- ②林 昌伸（はやし まさのぶ）
- ③和歌山県
- ④4月より形成外科に赴任いたしました林昌伸と申します。形成外科では他科と連携して行う仕事も多く、これまでもチームワークの重要性を感じておりました。皆様にはご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、チームの一員として少しでも患者さんのお役に立てるよう精進して参りたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひいたします。




平成31年4月1日付け

- ①放射線治療科
- ②岸田 柱太（きしだ けいた）
- ③長野県松本市
- ④今年度からがんセンターに赴任しました岸田と申します。放射線治療を通じ、県内外のがん治療に貢献できるよう努力を重ねてまいる所存です。至らぬ点も多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願ひいたします。




平成31年4月1日付け

- ①泌尿器科
- ②村川 裕希（むらかわ ゆき）
- ③宮城県
- ④この度、泌尿器科に赴任してきました村川裕希と申します。皆様にご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、頑張ってお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



平成31年4月1日付け

- ①放射線診断科
- ②森下 陽平（もりした ようへい）
- ③東京都
- ④放射線診断科の中でも私の専門は脳神経・頭頸部領域になります。がんセンターの質の高い医療に貢献できますよう、日々精進していきたいと思ひます。



## 新任診療科長紹介 (平成31年4月1日付け)

整形外科	保坂 正美
消化器内科	内海 潔
呼吸器外科	阿部 二郎
放射線治療科	久保園 正樹
乳腺外科	河合 賢朗
精神腫瘍科	野村 綾

## 退職医師の紹介 (平成31年3月31日付け)

松浦 一登	副院長
村上 亨	整形外科
角川 陽一郎	乳腺外科
佐藤 正幸	消化器外科
相澤 宏樹	消化器内科
太田 真澄	形成外科
佐藤 博宣	整形外科
鈴木 友	放射線治療科
武田 詩奈子	泌尿器科